

海老名市立有鹿小学校 学校運営協議会 議事録  
(令和5年度 第3回)

- 1 日時 令和6年2月9日(金) 9:35~11:15 (学習発表会参観)  
11:30~12:30 (本会議)
- 2 場所 海老名市立有鹿小学校 コミュニティ・ルーム
- 3 出席委員 鍵渡正徳会長、碓井雅巳副会長、越智正則委員、北川八重子委員  
田中由美野委員、伊藤恵美子委員、新井悦子委員、加藤誠一委員  
境景子委員、内山大輔委員  
(鍵渡会長、加藤委員は、学習発表会参観後退席)

4 会議の内容

会議冒頭に体育館に移動し、学習発表会の発表の様子を参観いただいた。

鍵渡委員：とてもよい発表会だった。子どもたちの成長が感じられてうれしかった。

加藤委員：みんなで集まって開催ができてよかった。こういう発表の機会は子どもたちにとってよい経験だ。

(1) 副会長あいさつ

碓井副会長：子どもたちからエネルギーをもらえて、うれしく感じた。  
発表の様子を参観できて大変よかった。

(2) 学校長あいさつ

境校長：今日は、学習発表会を、委員のみなさまにご覧いただけてよかった。  
みんなで一緒になってひとつのものをつくりあげて、子どもたちは体験できていて、とてもうれしく感じた。  
本日は、次年度のことについて、ご協議いただきたい。

(3) 議事①下半期の学校の状況、教育活動について(報告)

境校長：11月の「あるかの森」は、PTAを中心に、地域の方のご協力もいただきながら、コロナ禍以前の形で開催することができた。子どもたちの笑顔をたくさん見ることができ、大成功だった。  
本日の学習発表会もコロナ禍前と同様に学年発表の形が取れた。日頃の成果が出せるように、どの学年も一生懸命取り組んでいた。

子どもたちには、人と関わる経験を積ませしていきたいと考えている。学校の様子を見て、気付いたこと、身に付けたほうがよいことなどがあれば、教えていただきたい。

田中委員：今年も鼓笛で関わらせていただいた。コロナ禍と比べて、より子どもたちと関われるようになった。運動会、せせらぎ祭りと感動する演奏で、元気をもらうことができた。

「あるかの森」では、学校応援団として、楽器の体験コーナーをつくり、子どもたちと関わることができた。

伊藤委員：普段は子どもたちと関わることがあまりないので、学習発表会は毎年楽しみにしている。今日、発表を見て、先生方の指導が素晴らしいと感じたし、子ども一人ひとりの頑張っている姿が見ることができて、うれしかった。先生方のサプライズは、子どもたちとの距離が縮まったように感じた。

北川委員：学習発表会は、毎年楽しみにしている。手を振ってくれる子もいて、かわいらしいと思った。また、きちんと返事もできていて、すばらしいと感じた。そういうことが、次の世代に受け継がれていってほしい。

越智委員：1年生の成長に驚いたと同時に、6年生の演奏が特にすばらしく感じた。運動会については、全員が校庭に集まることができてよかった。弁当ありで種目を増やすと、子どもたちにとってはさらによいのではないかな。また、先日、長寿会で1年生の昔遊びに参加したが、子どもたちからエネルギーをもらうことができた。

碓井副会長：若い声を聴くだけで、若さをもらえる気がする。また、今日の発表会では、先生たちの一体感を感じることができた。また、学習の成果がよく出ていたし、一人ひとりの集中力を感じた。

新井委員：学校運営協議会だが、小中が連携し、中学校区の3校が合同で会議を行うことができれば、本当の連携になるのではないかな。

#### (4) 議事②令和6年度学校運営方針に係る協議

※資料をもとに説明

碓井副会長：多様性の尊重は、大切なことではあるが、移民の問題など、自国の文化を守ることへの課題も一方である。文化を尊重することも大切にしていきたい。また、今の時代は、情報がたくさん入ってくる。AIを使えば何でも分かってしまう。AIを上手に活用する方法も、子どもたちには教えていけないといけない。

境校長：時代に合わせていくという点では、PTA活動も見直しを行っている。朝の立哨は、「おはようパトロール」とし、できる人ができる時に行える形を4月から試行することになった。常置委員会も活動内容を見直していく。

今年度からの変更点をふまえ、令和6年度の学校運営方針にご理解いただいた。

(5) 事務連絡

次回の学校運営協議会の開催について確認

第1回 令和6年5月23日(木)10:00から開催予定

現時点での予定として、

第2回 令和6年11月20日(水)

第3回 令和7年 2月27日(木)…学習発表会の開催が決定したら  
その日に変更の可能性有